

令和5年度



Wildlife Management Center
Tokyo University of Agriculture and Technology

野生動物管理教育プログラム 受講生募集！

野生動物管理の専門家育成のための教育プログラム

深刻化した野生鳥獣による農林水産業被害や生態系被害など地域課題を解決するため、科学的な野生動物管理を担うことができる専門人材の育成を目的に、将来的な資格制度につながる「コアカリキュラム」に向けて、試行的に開講いたします。



野生動物管理教育
について

令和5年度野生動物管理教育プログラム(全6科目)

※詳細は裏面を参照

農学部特別講義Ⅱ	野生動物保全管理学	1単位	オンデマンド 講義
	野生動物被害管理学	1単位	
	自然保護と自然資源管理	1単位	
	鳥獣・環境関連法規・政策	1単位	
農学部特別講義Ⅰ	住民参加型計画立案手法	0.5単位	
農学部特別講義Ⅰ	森林保全対策演習	0.5単位	現地実務講習

受講対象者

東京農工大学に在籍する農学部生 および農学府生

オンデマンド講義 → 農学部特別講義Ⅰ（1科目）、農学部特別講義Ⅱ（4科目）

開催日程： 2023年10月～12月

内容： 講義動画をGoogleクラスルームで配信予定。
レポート課題あり。

定員/費用： なし

申込方法： 学部生→SPICA SIRIUSでweb履修登録。（後期履修登録期間）

大学院生→Googleクラスルーム内のフォームから申込後、SIRIUS上の各種
申請から教務係に届出。（後期履修登録期間）

※Googleクラスルームにて受講方法など詳細連絡。各特別講義のクラスルームはクラス
コード一覧のリンク先シラバスから確認すること。

現地実務講習 → 農学部特別講義Ⅰ「森林保全対策演習」（1科目）

開催日程： 2023年10月7～8日 開催地：FM草木（宿泊：FM大谷山）

内容： 1泊2日の演習+後日大学にてまとめ・発表。レポート課題あり。

定員： 25名。申込者数が定員を超えた場合は抽選。抽選結果は7月28日(金)まで
にクラスルームに掲示予定、夏休み前に必ず確認すること。

費用： 1,600円（食費として）+交通費 自己負担

申込方法： 受付は終了しました。

WEB履修登録不可。参加確定者の履修登録は教務係が行います。

履修登録確認・修正期間が始まるまでに登録されますので、SIRIUSにて
各自確認してください。

※クラスルームにて詳細連絡。必ず事前に確認すること。

クラスコード 53u6qjq

※10月2日(月)に対面にてガイダンスあり。（参加必須）



演習申込

令和5年度 野生動物管理教育プログラム一覧

科目名 (項目数)	学修項目	講師	主な学修内容
野生動物保全 管理学 (7)★	(1) 野生動物管理とは何か	梶 (東京農工大)	哺乳類相の特徴、野生動物管理の在り方
	(2) ヨーロッパと北米の野生動物管理	梶 (東京農工大)	野生動物管理の歴史、ヨーロッパと北米の野生動物管理システム
	(3) 個体群動態の基礎	宇野 (東京農工大)	個体群生態学の用語、理論
	(4) 野生動物の過増加	宇野 (東京農工大)	過増加がもたらす様々な影響
	(5) 大型獣の個体群管理	鈴木 (岐阜大)	大型獣の生態的特性と管理手法
	(6) モニタリング	高木 (兵庫県立大) 諸澤 (東京農工大)	個体群モニタリングの基礎
	(7) 生息地	栗山 (兵庫県立大)	生息地の概念、生息地利用
野生動物被害 管理学 (7)★	(1) 野生動物管理のなかの被害管理の位置づけとは	小寺 (宇都宮大)	人口縮小社会の野生動物被害、被害管理に関わる社会教育
	(2) 農業被害の背景・要因・実態	小寺 (宇都宮大)	農業被害の増加の背景と要因、農村の諸問題
	(3) 農業被害の軽減手法	小寺 (宇都宮大)	農業被害軽減手法と技術
	(4) 森林生態系被害、林業被害の背景・要因・実態	小池 (東京農工大)	森林生態系被害、林業被害の背景と要因
	(5) 森林生態系被害、林業被害の軽減手法	小池 (東京農工大)	林業被害軽減手法と技術
	(6) 水産業被害の背景・要因・実態	須藤 (イェレットワイス)	鳥類や鰭脚類による水産業被害の背景と要因、漁業の諸問題
	(7) 水産業被害の軽減の手法	須藤 (イェレットワイス)	水産業被害軽減手法と技術
自然保護と 自然資源管理 (6)★	(1) 自然保護とは何か	平原 (東京農工大)	保存と保全、日本と欧米の自然保護思想の違い
	(2) 自然資源管理とは何か	平原 (東京農工大)	自然資源、エコシステムマネジメント
	(3) 自然資源管理のガバナンス	平原 (東京農工大)	ガバナンス、補完原則、市民参加
	(4) 野生動物の資源的価値	鈴木 (岐阜大)	野生動物の資源的価値、利用形態
	(5) 野生動物の消費的活用	伊吾田 (酪農大)	狩猟資源、食肉資源、副産物等
	(6) 野生動物の非消費的活用	中川 (知床自然大学院 大学設立財団)	観光資源、教育資源等
鳥獣・環境関連 法規・政策 (7)★	(1) 鳥獣保護管理法	鳥居 (自然公園財団)	鳥獣保護管理法概要、特定計画制度
	(2) 自然環境保全関連法令の概要	鳥居 (自然公園財団)	生物多様性基本法、自然環境保全関連個別法
	(3) 森林関連法規、森林・林業基本法	増田 (長野庁)	森林・林業基本法、森林法、森林計画・山地保全
	(4) 特定計画に基づく科学的管理手法	横山 (兵庫県立大)	科学的管理、データ収集・分析の理論と手法
	(5) 野生動物問題に関する法体系	黒崎(東京環境工科専門学校) 諸澤 (東京農工大)	鳥獣被害防止特措法と鳥獣保護管理法
	(6) 行政の構造、公的機関の役割	黒崎 (東京環境工科専門学校)	都道府県と市町村、公務員の理想像やモデル事例
	(7) 農林業被害対策に関する計画立案	黒崎 (東京環境工科専門学校)	被害防止計画の立案
住民参加型 計画立案手法 (3)★	(1) 地域主体の獣害対策の理論	山端 (兵庫県立大)	被害管理、合意形成、アクションリサーチ
	(2) 地域主体の獣害対策推進手法	山端 (兵庫県立大)	アンケート・インタビュー、フィールド調査、可視化 (GIS)、ワークショップ技法
	(3) 農業におけるコミュニティの特徴と土地利用計画、「人・農地プラン」	山端 (兵庫県立大)	農業集落、コミュニティ組織、農村社会の課題
森林保全 対策演習 (3)☆	(1) 森林の実踏調査方法	高田・諸澤 (東京農工大)	森林や生態系被害の把握方法
	(2) モニタリング調査	高田・諸澤 (東京農工大)	糞などの痕跡や自動撮影カメラを用いたモニタリング手法
	(3) 森林保全対策立案手法	高田・諸澤 (東京農工大)	林業被害の防除手法と技術

★オンデマンド講義 (5科目/30学修項目) 1学修項目 約90分

☆現地実務講習* (1科目/3学修項目) 1泊2日の演習+後日大学にてまとめ・発表を予定。

※現地実務講習は定員制の為、応募者多数の場合は抽選を行います。

●オンデマンド講義・現地実務講習共に、レポート課題による成績評価を予定。

■上記プログラムは、令和6年度以降のコアカリキュラム本格的実施のための、試行的プログラムとなります。

■将来的な制度構築に資するため、受講後にアンケート調査を実施しますので、ご協力をお願いいたします。

お問合せ

東京農工大学農学部附属 野生動物管理教育研究センター (平日9:30~16:30)

E-Mail : wm-center@m2.tuat.ac.jp / Tel: 042-367-5861

